

# 台風15号被災地・千葉でボランティア

9月9日未明に関東地方に上陸した台風15号は、千葉県南部を中心に大きな被害をもたらしました。全建総連の要請に応え、東京土建の仲間は9月21日から土日を中心に、千葉県の市原市、大網白里市、館山市に行き、屋根の破損箇所を養生するためのブルーシート張りなどのボランティア活動に奮闘しました。

## 館山 被災者に寄り添い安全第一で ブルーシートで養生

10月6日は館山市で、これからのボランティアのグループや個人が集まってきています。目の活動にあたります。この日、東京土建は6支部・本部から16人が参加しました。

市役所前には館山市社会福祉協議会のテントが並び、復興道とプリントされた揃いのTシャツを着たグループ、高校のサッカー部員など多くのボランティアのグループや個人が集まってきています。全建総連では9時半から、打ち合わせ開始。全建総連の田口書記次長、千葉土建かずさ支部の河野さんがボランティアの位置づけや被害状況などを述べた後、第一波から複数回参加している島原東京土建副委員長がブルーシート張



台風15号の被災現場 (市原市)

軒天を補修、樋にも対応

全建総連関係の参加者は4つの班に分かれました。第二班は東京土建の足立支部の秋山さん、村山さん、早川さん、世田谷支部の岩佐さん、佐藤さん、島原さん、全建総連の徳森さんと記者で構成。まず事務局の千葉土建から渡された受付シートに基づき、被災者へアポ電話を入れました。何件かはすでに業者に依頼済みでキャンセルになったものもありました。

北条地区の被災者とアポがとれ、現場に急行。軒天の部分が2カ所はがれていました。ブルーシートを使い、風雨が入らないように応急処置を施しました。また、樋の詰まりについても対応しました。住民の高齢女性は「今回の台風は館山に住んで初めて経験する激しいものでした。この程度の被害ならと思っ



屋根の上で作業する岩佐さん(奥)と佐藤さん

て、3日前(10月3日頃)にた。助かりました」と安心してから役所に連絡しました様子でした。

### 助け合いは組合の原点 今後も活動と確認

次に向かったのは上野原地区の被災者宅。被害は雨樋が壊れているとのこと、それを修理しました。

女性の話によれば、その後も雨が降った際には天井にシミができてしまっているとのこと。岩佐さんと佐藤さんが屋根に上がり、鉄板のはがれた部分に防水テープを使ってブルーシートを覆い、その上から入念に土嚢を据えて固定しました。(右写真)



館山市役所4号館前で朝の打ち合わせをする全建総連の参加者

処置で済むケースと様々です。最後となった国分地区の住宅の被害は「中の下」レベルと判断されるものでした。平屋で鉄板の屋根の端一枚がはがれていました。住民の

### 私も参加しました

【中野・看板・山田種三記】高速道路から出た途端、次々と現れる千葉県市原市の光景に胸を締めつけられた。ドミノのように倒れてむ通り沿いの看板、倒されたままの木々や吹き飛ばされた屋根。台風15号の被災から2週間がたち、電気の復旧という報道が勝手なイメージで被害の復旧とすり替わっていた。

### 胸を締めつけられる光景 継続的支援が必要

9月23日、東京土建の仲間3つの班に分かれて、依頼のあった家を訪問していく。レヒも映らず、詐欺があることも知らなくて」と弱り切っている。作業前のヒアリングでそんな話を聞き、分かった。ともかく一度上にと。

「隣家に屋根に何か刺さっている」と指摘されて心配だけれども全然来てもうえなくて。知り合いは補修業者を名乗る男に金を渡したら道具をとって帰るといつたまま戻ってこなかった。電気がないからテ



山田さん

建設組合のボランティアには、普通のボランティアとは違う重い期待がかかっている。まだまだ傷跡生々しい千葉への支援継続の必要性を痛感した。(山田さんは館山での活動にも参加しました)

### 突風にも注意しながら やりがいを実感

【足立・鉄骨・金澤崇人記】9月23日、私の班は、足立支部、杉並支部の仲間など5人で市原市内の被災者宅を訪問。途中ブルーシートのかかった屋根が多く見受けられ被害の大きさを実感しました。電話確認の上、被災者宅を訪問し、被災者からお話を伺うと「母屋では雨漏りしていないが、瓦がたぐさんははがれ落ちていたので雨が降ったら心配。倉庫も雨漏りしているがまずは母屋の修繕を」とのこと。台風による強風の中、早速被害の確認のため、屋根に上がると屋根の片側の瓦が広い範囲で破損していました。



金澤さん

最後に被災者の方から「ありがとございます」と言葉をかけていただき、一緒に記念撮影、当日の作業は終了となりました。危険な作業でしたが、やりがいを実感することができました。